

高齢者の足の確保

繁田 基 議員（公明党）

問 高齢者の足の確保について、地域交通に関する審議も進み、一定の結論が出されたのではないかと思うが、現在どのようなにされようとしているのか。

答 中国自動車道の南側では、既存の公共交通と結節するデマンド交通の導入について検討しています。また専らコミューンバスしか運行していない中国自動車道の北側では、一部市街地に直行するデマンド交通と、公共交通との結節をするデマンド交通の導入を検討しています。21年度は、この計画をもとに、秋には加西市の北部地域でのデマンド交通を導入することを予定していますが、運行の方法、運行のエリア等については、今後地域住民の方、交通事業者と調整を図りながら、地域のニーズに合った公共交通を構築していきたいと考えています。

耐震工事、学校統廃合について

森元清蔵 議員（公正党）

問 まずは耐震工事をするところから、つづいて耐震工事をするところを言われていた

が、そうすると、統廃合の問題はもっとじっくりとやっていたいける問題ではないか。各校舎の耐用年数はまだ大丈夫で、漠然とした校舎の建てかえ費用が多く要るとか、その金が出せないとかではなく、具体的に施設がどうなるかによって、子どもたちの教育がどうなるかという議論をすべきだと思う。次に、学校統廃合は何年の時点を想定しているのか。10年先をどうするかという議論なら住民も一緒に考えていかなければならないことだと思う。

答 耐震工事は人命重視という

ことで断固やるという気持ちです。それなら統廃合はしなくてもいいというのは、耐用年数切れまで待っているのは行政としては怠慢ではないかと思えます。学校統廃合のタイムスパンについては、早いもので5年ぐらい、遅くとも10年前後には統廃合のピークを迎えるのではないかと思えます。我々の提案に対して市民が反応したことは出発点です。そこから市民と教育委員会との間で合意をつくっていくような意思決定の構造を模索していきたいと思えます。

懲戒審査委員会の採用試験問題について

西川正一 議員（正睡会）

問 今回の答申に基づき、どのように行政処分を行なうのか。問題となった採用試験

は、市長選を経て、新旧市長が交代する中で実施された。事務手続きにおいて問題はなかったのか。100条委員会を設置して、市長の許可なく職員に証言をさせたことは、法手続上問題ではなかったのか。

市長は採用選考に介入したのか、また市長が不合格者を合格にしたのではとの誤解がまだ一部に残っているが、どのように打ち消すつもりか。

そして、だれが情報を漏洩したのか。イメージダウン、業務の停滞、無駄な選挙費用、市長の対外的信用、市民に無用の心配と疑念を抱かせてしまった、本来取り組みたかった市長職が遂行できなかった等、多くのマインスマ面があったと思うが、誰の責任か。

答 答申を受けて肅々と処分の手続をしたと思います。処分は先立ち、本人にも聴聞の機会を与えるべきだと考えています。市長就任時には、既

に2次選考まで終わっており、2カ月近く経って初めて採用という事態を知ったわけです。ある日突然選考結果だけ決裁してくださいというものは、任用権者の権限を大幅に侵害するものと思っています。

100条委員会を設置して、市長の許可なく職員が証言したことは明らかに地公法違反です。100条委員会を開く前に、議会の皆さんが十分な説明機会を与えていれば、あれほど大騒ぎになる内容ではなかったと思います。改革派の市長をやめさせたいという勢力が結託して、画策したのではないかと認識しています。

市長就任以来、採用問題には良い意味で積極的に関与はしていませんが、介入していません。平成18年度の採用試験に関しては、市長の権限の範囲内で本来あるべき姿に戻そうとしたわけ

です。情報漏洩等の責任は、直接には情報管理するべき担当者と上司の責任だと思えます。また、当該職員と共謀、あるいは職員をそそのかして、採用に関する機密情報を不正に入手したものが責任を負うべきだと思います。

める必要があるということ、認識されていると思う。医療費の無料化をしたりお金を配ったりすることはありがたいが、お金を持っている自治体が有利。むしろどう付加価値をつけるかが大切。それがまさに質の高い教育であることは従来から力説するところ。そのために教育立市の宣言をして取り組むことが最も重要ではないかと考えるが見解は。

答 教育立市については、企業誘致、定住促進の面からも大変重要な施策だと思っています。この宣言をするためには、まず教育委員会のいままでのスタイルを変えていく必要があります。学校施設の充実度も高め、教育ソフトのレベルもアップしていかなければならず、財政や経営戦略の方向性も打ち出さなければなりません。いまは教育立市と言ってすぐやれるだけの準備ができてない状況です。すぐにも加西市を教育のまちにしていきたいと考えていますが、まずはその準備を今年前半ぐらいで行い、年度内、できれば年内に加西市教育立市ということを打ち立てていきたいと思っています。